

オフィスで輝く、シニア派遣 拡大中 ～経験が、ちゃんと評価される場所がある派遣シニアの働き方～

少子高齢化が進むにつれ、労働力不足はますます深刻な状況となっています。このような状況の中、貴重な働き手として注目されているのが「シニア人材」です。人生100年時代と言われる中、本人の希望に合わせてフレキシブルな働き方を選べる、豊富な求人の中から経験・スキルを活かして無理なく働ける点が指示されています。

■データで見るシニア派遣社員の働き方

「2025年度 派遣社員WEBアンケート調査」（有効回答の5,523人）では、60歳以上が568人と、約1割を占めました。

■フルタイムが主流も短時間・日数少なめの働き方も

1日「7.5時間～8時間」週5日のフルタイム勤務がシニアでも主流となっています。

一方で約3割が週30時間未満など、柔軟な働き方を実現している人も少なくありません。



■派遣で働く理由はライフスタイル重視型

シニアが派遣で働く理由のtop3

- 1位 働く時間や時間帯を選べるため 37.0%
- 2位 勤務地を選べるため 34.2%
- 3位 働く時期や期間を選べるため 33.5%

また、他の年代に比べて、「これまでの経験を活かせる」「担当する仕事の範囲が明確」という理由も多く、経験を活かしながら無理なく働けることがポイントです。



■事務系職種が中心。最も多いのは「OA事務」

派遣シニアの業務は「OA事務（PC操作中心の事務・データ入力）」が26.1%で最多でした。続いて「一般事務」10.2%、「コールセンター業務」10.0%でした。また、全体と比べるとコールセンター業務と倉庫内作業の割合がやや多いのが特徴です。



■平均時給は大都市圏で1,660円 その他のエリアでは1,401円

派遣シニアの時給は、東京・愛知・大阪では「1,750円以上」が35.6%で最多、平均時給は**1,660円**。その他の地域では、「1250円～1500円未満」が41.2%で最多、平均値は**1,401円**でした。

シニアの働き方には派遣がフィット ～自分のペースで働く、派遣という柔軟なスタイルとシニア人材～

近年、定年延長や再雇用制度の広がりにより、60代・70代の方々が現役として活躍する姿が珍しくなくなりました。そんな中で注目を集めているのが「派遣」という働き方です。

■銀行でパート歴25年、定年後に関連企業で派遣就業 (Aさん66歳)

Aさんは子育てが一段落した頃から銀行でパートタイマーとして25年務めて定年退職し、その後、派遣社員として関連会社で働くことになりました。

「自分の希望をきちんと聞いてもらえることが派遣の魅力」と、現在はアプリ開発を行うスタートアップ企業で1日5時間・週3日で働いています。銀行時代に上司に『自分への投資は裏切らない』とすすめられて取得したITパスポートを活かし、デジタルツールも使いこなしながら活き活きと活躍しています。

「派遣は『お金をいただきながら勉強できる働き方』、働くことで学び続けることができています。年齢に関係なく学び続けていきたいです。」

(Aさん)



■70歳から始めたプログラミングで業務改善を推進 (Bさん80歳)

派遣社員としてプログラム開発による業務改善に取り組むBさん。派遣社員として働く良さは、正社員のような責任や制約がない分ストレスが少なく、自分の興味のある仕事に集中できるというBさんは、自分を活かせる職場を派遣会社が見つけてくれるのも大きな魅力だと思います。

70歳を過ぎてからマクロやVBAなどから始まって、Pythonを独学で学びました。「以前は独学で行き詰まることも多かったのですが、ポイントを押さえてChatGPTを使えば、プログラムも作れるのです。Pythonの習得も一気に進みました。」とAIの活用にも積極的です。

「年をとってもできる仕事は何かとずっと考えてきました。**テクノロジーは変わっても、仕事の本質は変わらない**。時代が変わっても通用する力を身につけることは大変重要だと感じます。」(Bさん)

■豊富な経験があるからこそ、派遣で新しいことにもチャレンジし続けられる

派遣社員として働くシニアの方々は自分の経験やスキルを活かしながら、ライフスタイルに合わせた柔軟な働き方を実現しています。正社員のようにフルタイムで働くことにこだわらず、希望の勤務日数や勤務地を選びやすく、新しい環境にもチャレンジできるのは派遣ならではの魅力。体力的な負担を抑えつつ、自分に合ったペースで社会と長くつながれる派遣という働き方は、シニア人材の新しい活躍の場として、今後、さらに注目が高まります。